

ばばだめ！  
JTサンダーズ広島



竹田 英司

原秀治監督や山本将平主将、小野寺太志、八子大輔、井上航、西知恕、金子聖輝の各選手が県立広島病院で医療従事者の皆さまに感謝とエールを送った。ベランダでは職員の方々が「ありがとう」の文字やJT広島のユニホームを掲げてくださり、激励に出向いた私たちが勇気づけられた。

合宿所への帰り道、西選手が「看



県立広島病院でエールを送る、左から西、小野寺、八子、井上航、金子の各選手



## 医療従事者にエール

看護師さんたちが将平とか、小野寺くーんって叫んでいたけど、僕の名前は呼ばれませんでした」と悲しそうだった。私は心の中でつぶやいた。西よ、嘆くことはない。今年の新人賞は西知恕だ、と。

病院といえば、今年はけが人が続出し、選手の付き添いで通院することが多かった。脚を痛めた陳建禎選手が「すみません、忙しいのに僕のために」と待合室で謝ってきた。私は知っている数少ない中国語で答えた。「不要担心。我的愛人（愛する人よ、心配しないで）」と。生真面目な彼は「それは僕が困ります」と明らかに困惑した。

精いっぱい冗談が通じず気まずい雰囲気だ。仕方ないのでスマホでチーム公式ツイッターを見ると、「陳さんに私の脚をあげたい」という書き込みがあった。私はけがした選手の部位を交換してあげたいと思ったことはただの一度もない。「チームの母」の称号はファンの皆さまにこそふさわしい、と思う年の瀬である。

今年一年間のご愛読に感謝申し上げますとともに、来年もJTサンダーズ広島への応援を賜りたい。

(JT広島マネジャー)